

令和7年度 第3回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和7年11月27日（木）18:30～19:40
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 7名…荒木、筧、加藤、清水、高澤、原田、龍崎
欠席者 3名…丸岡、山岸、荒井
事務局 2名…地域コミュニティ支援課 山岸、松本
指定管理者 2名…NPO法人 YMCA コミュニティサポート 吉永、沼崎
傍聴者 0名

配布資料 1 利用状況、利用者の声
2 夏のボランティア・市民活動体験2025報告
3 のたろんフェア2026
4 サポートセンターデータベース登録団体（新規・異動分）と公益性の判断について

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び地域コミュニティ支援課から、資料1に沿って報告した。

- ・今回より、資料1「市民活動サポートセンター例月実績報告」の「◆センター利用実績（汐入）」の利用者数について、利用票を記載して利用する「活動団体」利用者と利用票を記載せずに利用する「一般」利用者に分けて記載するよう変更した。
また、利用団体数については、利用票を記載して利用する「活動団体」の利用数のみを記載するよう変更した。
- ・資料1-①～⑦について、今回から資料のリニューアルを行った。
- ・現在、利用票を記載せずに利用する「一般」利用者数については、市民活動サポートセンターのスタッフの目視によりカウントをしている。県内他市の状況を確認したところ、多くの市が利用票等による利用状況の把握をしており、本市同様に、サブ的に目視で利用人数をカウントしている市等もあったが、施設の主要なエリアについては利用票等の記載を求めていた。
については、利用票を記載せずに利用する「一般」利用者においても、12月から利用時間と人数を記載する台帳での利用状況の把握に運用を変更する。

（指定管理者：汐入について）

- ・令和7年4月から10月までの利用者数は、「活動団体」の利用者数が1万4584人、「一般」利用者数が5679人、合計2万263人で、前年度に比べ10%利用者が増加している。
- ・備品の貸出状況は、前年度と変わらない状況であり、1年間の利用数は前年度並みに推移すると見込んでいる。

- ・パソコン講座の開催状況は、自主講座、フリープランとともに利用が少ない状況である。講座は、自主講座を受講後、次のステップとしてフリープランを受講するニーズに合わせたプログラムとして運営している。
- ・4月から10月のコピー機の利用状況は、収入が280,601円で、前年度比75%の利用であり、印刷機の利用状況は、収入が724,440円で、前年度と同水準程度の利用であった。これまでの傾向と変わらず、コピー機の利用が下がっている状況である。
- ・2019年度から2025年度の利用者数の推移（資料1-①）は、コロナ禍以後、市民活動サポートセンターの利用者は毎年増え続けており、今年度についても昨年度を上回る利用状況で推移している。
- ・対前年度比の月ごとの利用状況（資料1-②）は、毎月の利用者数が前年度に比べ増加している。また、利用の傾向は、昨年度同様、4月～5月は各団体の総会等があることから利用数が伸びているが、夏の時期は利用が落ち込む傾向にある。
- ・曜日別の利用者の状況（資料1-④）については、月曜日の利用が少なく、課題であると認識している。今後も注視していきたい。
- ・時間帯別の利用者の状況（資料1-⑤⑥）については、1日の間に3つの利用の山があり、まずは開館後1時間を経過した10時に第1の山があり、その後14時に利用のピークを迎え、18時30分に小さな第3の山を迎える。この傾向を踏まえ、今後、利用促進について検討していきたい。
- ・利用コーナー別の利用者数（資料1-⑦）は、交流サロンの利用が一番多く、次にミーティングコーナーの利用が多い状況である。
8月～10月の特筆すべき傾向として、8月の活動紹介コーナーの利用が伸びていることがある。団体の活動紹介を見て、活動を理解してもらうことは、今後の市民活動に大きな影響を与えることから、新たな市民活動に繋がる1歩と考えており、同コーナーの利用促進に力を入れていきたい。
- ・活動紹介コーナーの予約状況（資料1-⑧⑨）は、センターエリアは予約で埋まっているが、フロントエリアの予約には空きがあるため、今後、周知を図っていきたい。
- ・利用者の声（資料1-⑩～⑫）には、予約不要、無料で利用出来るスペースがあることや、印刷等の作業が出来ることに利便性を感じているという声をいただきしており、本施設の強みであると考えている。
- ・8月のご意見として、入り口のドアが重く開閉に苦労しているとの声をいただいた。ドアの調整を行ったが、ドアの構造上改善は難しいため、自動ドアが設置されている別の入り口を案内する掲示を行うことで対応を行っている。
- ・9月には、事前に予約したミーティングルームの予約が入っていなかったとの声をいただいている。ご本人にはお詫びするとともに、スタッフ間で予約手続き処理について検証を行った。手続き処理のチェック機能を強化することで、今後、このようなことが起きないよう対応していきたい。
- ・9月のご要望として、市民活動サポートセンターの年間イベントカレンダーがあると良いとの声をいただいた。ありがたいご要望であり、ホームページ上では既にカレンダーを掲載しているが、館内においても半年間のイベント情報の掲示をはじめた。
- ・10月には、パソコンのUSBの差込口が不調であるので、機器の更新をして欲しいとの声をいただいた。スタッフで定期的に点検を行っているところではあるが、状況を見ながら機器の更新を検討していきたい。

（地域コミュニティ支援課：久里浜について）

- ・令和7年8月から10月までの利用者数は、前年度の184人に対し今年度は206人、前年度に比べ12%増加している。また、利用団体数も、前年度の79団体に対し今年度は89団体、こちらも前年度に比べ12%増となっている。
- ・コピー機の利用状況については、汐入同様、利用が落ち込んでいる。これは、社会のデジタル化に伴うものであり、今後、コピー機の運営について検討する必要があると考えている。併設施設である役所屋久里浜店とも相談の上、市民サービスとのバランスも考慮して検討していきたい。
- ・印刷機の利用については、前年度同時期に比べやや落ち込んでいる。印刷機は、近隣に設置している施設が少なく一定数の利用者もいるため、利用について慎重に推移を見守っていきたい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・市民活動サポートセンターの利用状況の様々なデータは、市議会に報告しているのか。
→特段に市議会へ報告することはしていないが、年度ごとに事務事業の概要について、記録、整理している。（地域コミュニティ支援課）
- ・備品の貸出状況は、当初の想定と比較してどのような状況か。
→手元に数字がないので、確認し検証していきたい。（指定管理者）
- ・コピー機について、機械はレンタルし、消耗品は購入していると思うが、損益分岐点となる利用枚数等は把握しているか。
→損益分岐点については把握しており、意識して運営している。今現在、損益分岐点を下回ることはないが、状況が悪くなるようであれば機械の台数（現在3台）を減らす等の検討していきたい。（指定管理者）
- ・資料1-③で、8月の土曜日の利用者が突出して多くイベントがあったとのことだが、どのようなイベントを行ったのか。
→のたるんキッズデイを実施した。こどもたちの支援を行っている団体が多く参加していたことや新幹線0系こだまの紙芝居を行ったため、こどもたちが多く集まった。（指定管理者）
- ・活動紹介コーナーの予約手続きは、どのようにしているか。
→半年前から、先着順で予約を受け付けている。市民活動サポートセンター登録団体であれば利用可能である。（指定管理者）
- ・利用者の声に、予約したはずの予約が出来ていなかったとの声があったが、これは非常に重大なことである。充分な検証をし、改善を行うべきである。
→今後、このようなことがないよう運営をしていく。（指定管理者）
- ・パソコンの利用について、自分で作成したものやネットで閲覧したものを持ち込むことは出来るのか。
→用紙代はかかるが、印刷は可能。（指定管理者）
- ・パソコン利用の際にUSBの利用が可能となっているが、セキュリティ上、問題があるのではないか。要検討としていただきたい。
- ・利用票を記載しない「一般」利用の利用者数のカウント方法の変更について、初めは利用者に定着することが難しいかもしれないが、個人情報を扱うわけでもないので是非進めていき、他都市の事例などを参考にしながら工夫していただけたら良いと考える。
- ・利用者数のカウントについて、デジタル化する方法も検討してもよいのではないか。機器等の導入費用は掛かるが、スタッフの負担軽減とのバランスを考えて検討して欲しい。

1- (2) 夏のボランティア・市民活動体験 2025 報告

指定管理者から、資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・期間は、7月19日から9月15日まで。

昨年度から、学生の夏休みを踏まえ、期間を延長している。

- ・参加団体は46(前年度36)、イベント数は44(前年度40)、いずれも前年度に比べ増加した。

また、参加者数は1,595名(昨年度1,603名)で、前年度並みであった。

- ・ボランティア数は256名(昨年度242名)で微増であったが、学生ボランティアは、昨年度の31名に対し今年度は36名と増加しており、近隣の高校や専門学校、大学生などの学生も多く参加していただいた。学生ボランティアが増えたことは、非常に大きな成果であると考えている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

意見等なし

1- (3) のたろんフェア 2026について

指定管理者から、資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・開催日時は、令和8年2月14日(土)・15日(日)。

- ・のたろんフェアは、例年、前の週(2月7日・8日)に実施しているが、今年度は、市内で行われる他のイベントとの兼ね合いから、実行委員会で日程を検討し決定した。

- ・第4回実行員会が終了し、募集要項が完成。

- ・参加団体の募集期間は、12月5日(金)まで。

- ・昨年度に引き続き、広報ポスターのデザイン募集を行った。近隣の高校や市民活動団体から10件の応募があり、実行委員会で審査の上、デザインを決定した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

意見等なし

2 議題

2- (1) サポートセンターデータベース登録団体(新規・異動分)と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って説明した。

(指定管理者)

8~10月の登録団体の状況は、新規登録が10団体、削除、名称変更団体は0であった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

意見等なし

3 その他

- ・市（地域コミュニティ支援課）が発行した「市民公益活動団体の魅力を発信する広報紙『ヨコスカリンク』」の創刊に伴い、市民活動サポートセンターにおいて、掲載されている団体の方々がゲストスピーカーとして登壇する「いきいき市民塾」を12月20日（土）に開催予定。各団体の構成員の方等に周知の上、是非参加をいただきたい。（指定管理者）

連絡事項

（地域コミュニティ支援課）

- ・現在、令和8年度の市民協働推進補助金及び市民協働モデル事業の募集を、12月5日（金）までの期間で行っている。応募に係る相談は、市民活動サポートセンターで行うことが出来るので、応募の際は是非利用して欲しい。
- ・第4回運営懇話会は、2月26日（木）18:30からサポートセンターにて開催予定。

以上